

2023年6月13日

各位

会社名 シンプレクス・ホールディングス株式会社

代表者名 代表取締役社長 金子 英樹

シンプレクス・ホールディングス、 ダイヤモンドスポンサーとして 日本パデル協会とのパートナーシップを締結

シンプレクス・ホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長（CEO）：金子英樹、以下 シンプレクス・ホールディングス）は、一般社団法人 日本パデル協会（東京都板橋区、名誉会長：高橋 陽一、会長：中塚 アントニオ 浩二、以下 JPA）とダイヤモンドスポンサーとしてパートナーシップを締結しました。



左からパデル日本代表総監督 高松 伸吾氏、パデル日本代表 山田 梨央選手、シンプレクス・ホールディングス 金子 英樹、日本パデル協会 中塚 アントニオ 浩二会長、パデル日本代表 富中 隆史選手（シンプレクスグループ所属）

シンプレクス・ホールディングスは、2022年度はプラチナスポンサーとしてパデル日本代表を応援してまいりましたが、2023年度はダイヤモンドスポンサーとして、パデル日本代表の強化・育成および、全日本パデル選手権大会をより一層支援してまいります。

パデル日本代表 総監督 高松 伸吾氏コメント

この度は、シンプレクス・ホールディングス様にダイヤモンドスポンサーとしてご支援いただけること大変感謝しております。シンプレクス・ホールディングス様には昨年もお支援いただき、2年連続引き続きのご支援、本当に感謝しております。今年度はアジアのチャンピオンを決めるアジアカップが開催されます！アジアカップという名前ですが、出場地域は多岐にわたり東南アジア、中東、アフリカ大陸、オーストラリア大陸から各国が参戦します。その中でアジアチャンピオンという1位を決める、名誉ある大会になります。日本は前回のアジアカップは準優勝。今回は優勝を狙います。近年は参加国も増え世界に遠征する選手も出て来ており、アジアのレベルは上がっておりますが、日本のレベルも同様に上がっていると確信しています。日本代表チームにおいては、昨年からスキル、フィジカル、メンタル、トレーニングに力を入れ、その中から選抜されたメンバーで挑みます。日本代表強化指定選手に富中選手がいます。富中選手は、日本代表チームの頭脳と言っても過言ではない存在です。また、日本代表チームのスポンサーをさせていただいているシンプレクスグループの社員という立場でもあります。業務と選手の両立、そして選手として活躍してくれると信じています。日本パデル史上初のアジアチャンピオン！その目的に向かって突き進みます。日本パデル界を背負って戦う日本代表選手達への応援、ご声援、宜しくお願い致します！！

シンプレクス・ホールディングス株式会社 代表取締役社長 金子 英樹コメント

我々が考えるイノベーションとは、必要であることがわかっているのに、実現するのが困難なため誰も手を出せなかったことを実現させることだと考えています。シンプレクスグループはそういった領域に挑戦し、実現し、さらにトップを取ってきました。パデル日本代表もぜひ世界のNo.1を目指して頑張ってください。そして日本でのパデル発展へさらなる前進を期待しています。

パデル日本代表強化指定選手 富中 隆史（シンプレクスグループ所属）コメント

昨年に引き続き、私が所属するシンプレクス・ホールディングスに日本パデル協会の支援をいただけること、大変嬉しく思います。本年は、冬に開催予定のアジアカップ優勝を目標に、チーム一丸となって活動しています。男子日本代表の悲願であるアジアチャンピオンに向けて、シンプレクスで培った「Commitment」「Professionalism」の精神で邁進してまいります。パデル日本代表へのご声援、よろしくお願いたします。

■パデルについて

パデルは1970年代に誕生した、テニスとスカッシュの要素を持ったラケットスポーツです。2022年現在全世界90カ国以上に約5万コート、競技人口2500万人、とりわけスペインではサッカーを抜いて国内第1位となる競技人口を持つなど、ヨーロッパを中心に世界各国で人気急上昇中のニュースポーツとして幅広い年代に親しまれています。特徴としてテニスコートよりも小さなコートの四方を強化ガラスと金網で覆われた2人組対戦のみのラケットスポーツということが挙げられます。ポイントの数え方や試合進行はテニスと同じですが、壁面のバウンドを活用したダイナミックながらも戦略的な頭脳プレーが魅力なスポーツです。また、小さいコートや扱いやすい

ラケットためスポーツ初心者や、子供や高齢者などレベルを問わず楽しむことが可能です。フィジカルを問われなければ、男女や親子三世代で勝負を楽しむこともできます。現在日本では、国内 23 施設（42 コート）、競技人口 30,000 人、選手登録者数は 1000 名ほどいます。

■一般社団法人 日本パデル協会について <https://www.japanpadel.com/>

日本パデル協会は 2016 年 6 月に日本のパデルの普及・発展を目的に設立され、2017 年 7 月に世界パデル連盟（FIP）に正式加盟、2030 年までに競技人口 100 万人達成を目指し活動しています。ジャパンパデルツアーをはじめとする国内外大会の企画・開催、国際大会の開催、代表選手選考および育成をはじめ、パデル関連事業発展のために必要なさまざまな事業を行っています。

■シンプレクス・ホールディングス株式会社について <https://www.simplex.holdings/>

シンプレクス・ホールディングス株式会社は、シンプレクス株式会社をはじめとする子会社等の経営管理を行う持株会社です。2021 年 9 月 22 日に東証一部上場を果たし、2022 年 4 月 4 日をもって東証プライム市場へと移行しています。グループ中核企業であるシンプレクス株式会社は、1997 年の創業以来、日本を代表する金融機関のテクノロジーパートナーとしてビジネスを展開してきました。現在では、金融領域で培った豊富なノウハウを活用し、金融機関以外の領域でもソリューションを展開しています。2019 年 3 月には AI 企業の Deep Percept 株式会社、2021 年 4 月には総合コンサルティングファームの Xspear Consulting 株式会社を創設し、創業時より付加価値の創造に取り組んできたシンプレクス株式会社とワンチームとなって、公的機関や金融機関、各業界をリードする企業の DX 推進を支援しています。

報道機関からのお問い合わせ

シンプレクス・ホールディングス株式会社

コーポレート・イノベーションディビジョン 広報 瀬川

TEL： 03-3539-7370 お問い合わせフォーム：<https://www.simplex.holdings/contact/>